



ふれあい

令和5年1月吉日
京都市立第三錦林小学校
校長 山口 昌則

後期学校評価（12月）の結果より

【確かな学力】

～学ぶ力を十分に引き出し
学びに向かう積極的な姿勢を
育てる～

A…よくできている B…大体できている
C…あまりできていない D…できていない

子 ども					保 護 者					教 職 員				
質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D
まいにちのがくしゅうのめあてが たっせいできている。	4 1 %	5 2 %	7 %	0 %	わが子は、学んだことを身につけて いる。	2 4 %	7 1 %	4 %	1 %	確かな学力（思考力・判断力・表 現力）が身につくようにしている。	2 4 %	6 5 %	1 1 %	0 %
よんだりかいたりけいさんしたり するちからがみについている。	5 2 %	4 2 %	6 %	0 %	わが子は、基礎的・基本的（読む・書く・ 計算する）な学力が身についている。	2 6 %	6 6 %	7 %	1 %	基礎的・基本的（読む・書く・計算す る）な学力が身につくようにしている。	2 9 %	6 5 %	6 %	0 %
いえですすんでがくしゅうするしゅ うかんがついている。	4 1 %	4 0 %	1 6 %	3 %	わが子は、家庭学習の習慣が身に ついていてる。	2 2 %	5 9 %	1 6 %	3 %	自主的・計画的な家庭学習の習慣 が身につくように工夫している。	1 2 %	7 6 %	1 2 %	0 %
じゅぎょうちゅう、しゅうちゅう してがくしゅうにとりくんでいる。	5 1 %	4 2 %	7 %	0 %	わが子は、意欲的に学習に取り組 んでいる。	2 1 %	5 9 %	1 8 %	2 %	意欲的に学習に取り組めるように 工夫している。	2 9 %	7 1 %	0 %	0 %

平素は本校教育活動にご理解・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。
保護者の皆様におかれましては、2回目のアンケートの回答にもご協力いただきありがとうございます。
その結果をお知らせいたします。

前回と同様に、学校評価を保護者の皆様と子どもたち、教職員に実施いたしました。今年度からは、オンラインによるアンケートも取り入れました。第1回のアンケート回答率は77%であり、今回は69%でした。例年90%以上の回答をいただいています。例年と比べると2回ともアンケート回答率が低くなっております。オンラインとなり、分かりにくい点が多かった結果と考えます。児童数での回答でしたが家庭数で回答されている方もおられました。アンケート内容や回答方法が分かりやすくなるよう努力していきたいと思ひます。今後も、どうぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

各項目で前期に行ったアンケート結果と大きな変化はありませんでした。「学習のめあてが達成できている」「基礎的・基本的な学力の定着」の設問に対して、子ども・保護者・教職員の約9割ができていると回答しており、学力が身に付いていることを実感しているようです。8月に行ったジョイントプログラムでは、5・6年生とも京都市平均を上回る結果となりました。

「家で進んで学習する習慣が身に付いている。」の設問では、子どもの回答が前期と比べるとできるが8%増加しました。家庭でのお声かけや家庭学習の内容の精選や自主学習の工夫などの成果が表れてきていると考えます。一方で、約2割の子どもと保護者は「あまりできていない」「できていない」と回答しています。今後も、子どもたちが必要性を感じ、身に付く家庭学習の内容や仕方について検討していきたいと思ひます。

「意欲的に学習に取り組んでいる」の設問では、前期と比べると子どもが4%、教職員が8%改善されています。学校では、校内で研究授業を行い、指導力向上を図っています。授業改善を行い、子どもが「楽しい」「分かる」「できた」と思える授業を行っていきけるよう努力していきます。

【健やかな体】

～生きる力を高める～

前期とほぼ同様の結果となりました。「早寝・早起きをして、朝ごはんをしっかりと食べている。」の設問は、子ども・保護者・教職員で85%以上ができていると回答がありました。子どもの健やかな成長には、「早寝早起き朝ごはん」をはじめとした規則正しい生活習慣が大切です。睡眠には心身の疲労を回復させる働き
のほかに、脳や体を成長させる働きがあります。また、朝食を毎日食べている子どもの方が、学力調査の平均正答率や体力合計点が高い傾向にあるという結果
が出ています。今後も、規則正しい生活を送れるようご家庭でも学校でも子どもの生活を支えていければと思ひます。

「進んで運動している」の設問では、前期と比べてできている回答した割合が子どもでは8%、教職員では6%増加し、保護者では5%減少しました。学校では、学級閉鎖になることが少なくなり計画通り体育学習や休み時間を行うことができるようになったことが、このような結果につながったと考えます。一方で、まだまだ新型コロナウイルスの影響が大きく、社会全体として規制が多いという現実もあります。そのため、家庭や地域で運動する機会が減っているかもしれません。体力低下は全国的な課題でもあります。遊ぶことでも運動することはできますので、おうちでもお出かけをしたり、公園で遊んだりする機会を設けていただければ幸ひです。

子 ども					保 護 者					教 職 員				
質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D
はやね・はやおきをして、あさご はんをしっかりたべている。	4 6 %	4 2 %	1 1 %	1 %	保護者は、わが子が早寝・早起きをして朝ごは んをしっかり食べられるようにしている。	2 8 %	5 7 %	1 3 %	2 %	基本的な生活習慣が定着するよう に取り組んでいる。	3 5 %	5 9 %	6 %	0 %
そうじやせいりせいとんをきちん としている。	4 6 %	4 1 %	1 2 %	1 %	学校は、清掃等が行き届き、整理 整頓がされている。	3 2 %	6 6 %	1 %	1 %	校内の美化に向けて、積極的に取 り組んでいる。	2 9 %	5 9 %	1 2 %	0 %
すすんでうんどうしている。	5 4 %	3 2 %	1 3 %	1 %	わが子は、進んで運動している。	3 0 %	3 9 %	3 0 %	1 %	進んで運動できる工夫をしている。	2 4 %	6 5 %	1 1 %	0 %

【豊かな心】

～豊かな人権感覚を 育てる～

A…よくできている B…大体できている
C…あまりできていない D…できていない

「自分から進んで挨拶をしている」の設問では、前期とほぼ同様の結果となりました。ただ、保護者は約3割ができていないと回答し、前期と比べて増しました。昨今の社会状況や不審者の情報等により、地域での挨拶を控える傾向も見られます。ただ、「挨拶」はコミュニケーションの第一歩です。今後も、挨拶の大切さを伝えていくとともに、学校や家庭、地域で必要な場面では「挨拶」をしていけるよう声かけをしていければと思います。

「友達を大切にし、仲良くしている」の設問では、子ども・保護者・教職員でできていると回答が多くあり、友達と良い関係を築けていることを嬉しく感じます。「学校が来るのが楽しい」「困ったことは先生や家族に相談している」の設問では、保護者が約9割、教職員では10割ができていますと回答しています。児童の8割以上ができていますと回答しているものの、前期よりも若干ではありますができていないと答えた割合が増加しています。今後、より楽しい学校となり困った時や何かあればすぐに相談したり話したりできる関係を築いていけるよう、授業改善を行ったり子どもと関わる時間を増やしたりしていきたいとします。

子ども					保護者					教職員				
質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D
じぶんからすすんであいさつをしている。	57%	32%	10%	1%	わが子は、自分から進んで挨拶をしている。	20%	51%	27%	2%	進んで挨拶できるように取り組んでいる。	41%	59%	0%	0%
がっこうにくるのがたのしい。	51%	31%	10%	8%	わが子は、学校に行くのが楽しいと言っている。	39%	52%	7%	2%	子ども一人一人を大切に作る学校づくりをしている。	53%	47%	0%	0%
ともだちをたいせつにし、なかよくしている。	71%	29%	0%	0%	わが子は、友達を大切にし、仲良くしている。	49%	47%	3%	1%	友達を大切にし、仲良くできる学級づくりに取り組んでいる。	47%	53%	0%	0%
こまったことはせんせいやかぞくにそうだんしている。	50%	31%	14%	5%	保護者は、わが子と会話する時間をとっている。	28%	64%	8%	0%	子どもと会話する機会を積極的に設けている。	59%	41%	0%	0%

【独自の取組】

～子どもたちの主体的な 学びを目指して～

各項目で前期の結果と大きく変わりはありませんでした。「学校ホームページや学年(学級)だより等によって学校の取組を発信している」の設問では、教職員の前期の回答では、できていないはありませんでしたが、今回は1割強ができていないと回答していました。学年(学級)だよりは定期的に発行していますが、ホームページは十分と言えない状況です。できる限りホームページも更新し、本校の教育をお伝えできるように努めていきます。

「自分の良いところが言える」の設問では、前期と比べて子どもはできるが5%増加しています。本校では、各教科学習や行事等で「なりたい自分」をテーマに指導を行っています。また、自己決定の場を与える、自己存在感を感じられる、共感的な人間関係を育成する場面設定を行っています。そのような学習経験をする中で、自分の良さに気づき、自信がもてきたのではないかと考えます。4月には、進級し新しい環境となり、その時に、不安や困難を感じる子どもがいます。「今の自分でいいんだ。」と思える心を今後も育み、新しい環境でも乗り越えていける力を付けていきたいとします。r

読書に関しては、できていると回答した保護者が約65%に留まっています。今後も、学校でも家庭でも本を読める環境を整えていければと思います。

子ども					保護者					教職員				
質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D
がっこうからのおたよりをおうちのひとにわたしている。	61%	31%	6%	2%	保護者は、ホームページや学年(学級)だより等によって学校の取組を理解している。	12%	77%	11%	0%	学校ホームページや学年(学級)だより等によって学校の取組を発信している。	25%	63%	6%	6%
いえやがっこうのルールをまもっている。	47%	48%	5%	0%	わが子は、家庭や学校のルールを守っている。	28%	65%	7%	0%	学級や学校のルールを守ることができるように取り組んでいる。	59%	41%	0%	0%
じぶんのよいところがいえる。	36%	37%	16%	11%	保護者は、子どものよさを認め、ほめている。	26%	64%	11%	0%	子どものよさを認め、ほめている。	59%	41%	0%	0%
すすんでどくしょをしている。	55%	28%	14%	3%	わが子は、読書に親しんでいる。	26%	30%	34%	10%	意欲的に読書ができる工夫をしている。	35%	65%	0%	0%

～自由記述から～

○学校での生活や学び、どんなふうに友人と関わっているのか、子供からの話だけでは見えない部分(親には言わないこと)がありますが、担任の先生が気にかけてくださり、保護者とも連携をとってくださったおかげで、なんとかひと山超えられたと思います。先生と話す中で、大人の都合を押し付けず、それぞれの個性を大切にしていると感じました。子育てで学校を頼りにできるのは、とても心強いです。いつもありがとうございます。

☆学習発表会の際、子ども達がマスクを付けたままだったのが残念でした。咳をしている子が多かったし、コロナ対策もあるのですが、声が籠っていて聞き取りにくかったのと、表情が見えなくてとても残念でした。保護者と距離は取っているし、発表会の間は子供達だけでも外して欲しかったです。対策を徹底する姿勢は素晴らしいと思いますが、幼稚園でさえ発表会の時は外して居るのでそこは柔軟に対応して頂きたいです。

★子どもの活動と安全面との両立については、今後も検討していくべき内容と考えています。マスクの着用については着脱のタイミング等検討していきます。ご意見ありがとうございました。

☆いつもお世話になります。花背山の家の宿泊学習がとても楽しかったようで、いまだに話をしてくれます。初めての事ばかりで、上手くできなかったり、思うように進まなくても、仲間と協力し合い、助けてもらったりと、家庭では出来ない、貴重な体験をさせて頂き、すこし自信がついた様子が見受けられます。

★子どもたちは、様々な経験を経て成長していきます。課外活動はもちろんのこと、各行事や授業等でも体験的活動を行っていくことで、子どもの成長を促し支えていきたいとします。

☆成績週間でこれだけ長いこと5時間にされると授業時間足りているのか心配になる。近隣の小学校でこのような取組をしているところを聞いたことがない。

★授業時数については、成績週間を取り入れた今年度も文部科学省が定めている時数を達成しています。また、現時点で未履修もなく計画通りの授業を進めることができています。本校独自の新しい取組のため、ご心配をおかけしますが、子どもたちの学力については今後も保障してまいりますので、どうぞご理解の程、よろしくお願いいたします。

お忙しい中、ご意見・ご感想を記述いただき、ありがとうございました。ご意見・ご感想にすぐに対応することができない部分もありますが、いただいたご意見等を真摯に受け止めなければと感じております。今回のアンケート結果を今後の学校運営に生かしていきたいとします。今後とも、本校教育に何卒ご理解ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。